

「野田小学校の山田樂伝承活動の取組」

1 学校名

出水市立野田小学校

2 学年・人数

6年生（計39人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年7月8日（土）演奏練習（野田農村環境改善センター）
令和5年8月23日（水）演奏練習（野田農村環境改善センター）
令和5年8月26日（土）演奏練習（野田農村環境改善センター）
令和5年8月28日（月）演奏練習（野田農村環境改善センター）
令和5年8月30日（水）楽器決め（野田農村環境改善センター）
令和5年9月4日（月）踊り練習・隊形作り（本校体育館）
令和5年9月5日（火）踊り練習・隊形作り（本校体育館）
令和5年9月9日（土）演奏練習・踊り練習（本校運動場）
令和5年9月14日（木）演奏練習・踊り練習（本校運動場）
令和5年11月1日（水）演奏練習・踊り練習（野田運動場）

(2) 発表の日時・場所

令和5年9月24日（日）秋季大運動会（本校運動場）
令和5年11月5日（日）野田郷大運動会（野田運動場）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

山田樂（やまだがく）

(2) 由来

今から約400年前に、当時の出水地頭であった山田有栄（昌巖）が、天草一揆を鎮圧しに向かう武士の士気を鼓舞するためにはじめたことをきっかけとしたもの。山田昌巖がはじめたといわれることから「山田樂」と呼ばれ、出陣と凱旋の形を取り入れたものとされる。

(3) 構成等

左手に鉦を下げた7人と入れ鉦1人が前列に、小太鼓を胸に抱えた15人の笹払いと「め八」1人を中列に、毛笠（馬毛）を被り、襷十文字に宮太鼓を横にした10人が郷列に並ぶ。これを門懸（もんかけ）といい、それから出陣、討ち入り、討戻し、凱旋の順に踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

平成元年度から学校が中心となり、地域の「山田樂保存会」の全面的な協力の下、秋季大運動会と野田郷運動会での踊り披露に向けた練習を行っている。本校6年生全員が踊りに参加することで、小学校期における伝承体制が整った。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

校区の地域住民が多く集う野田郷運動会で山田樂を披露し、伝統芸能が継承されていることを伝えている。今後は、県下一周駅伝の沿道応援でも披露するとともに、県下に広く周知していきたいと考えている。

7 取組の様子



【野田農村環境改善センターでの練習】



【本校運動場での練習】



【秋季運動会での発表】



【野田郷大運動会での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【6年生児童から】

夏休みから取り組むことによって達成感を味わうことができた。受け継がれてきた楽器や踊りを踊ることで伝統芸能の大切さを感じることができた。これからも大切にしていきたい。

【保存会から】

400年以上も前から踊りの形態を一切変えずに伝承していることに誇りをもつとともに、子供たちがしっかりと受け継いでくれることを大変嬉しく思う。運動会での発表も堂々とした素晴らしいものであった。

この子供たちが将来伝承活動の担い手として活躍してくれることを願う。

【教職員から】

4月当初からリズム打ちの練習を始め、夏休みには本格的に踊りや隊形移動の練習に取り組んできた。最初は独特のリズムや足の動かし方に苦慮する姿も見られたが、保存会の方々の丁寧な指導によって日を迫る毎に上達していく姿が見られた。また山田樂の歴史や踊りに込められた思いなども学ぶことができた。